

World Class Company

 オムニヨシダ株式会社
COMPANY PROFILE

 オムニヨシダ株式会社



www.omni-yoshida.co.jp/



World Class Engineering

私たちは常に世界で通用する物流機器の提供をめざしています。

いま、物流センターに求められていることは、“顧客サービスを改善しつつ、物流コストの低減を達成すること”だと言われています。

この相反することを同時に成し遂げることは至難なことですが、これを達成しなければ、時代に取り残されることを覚悟しなくてはなりません。

私たちは、物流システムメーカーとしてこの難しい課題を自覚し、急速に国際化する“モノの動き”に対応できる、お客様の“全体最適システム”構築の一翼を担いたいと考えています。

常に視点を世界に向け、グローバル化する国内の物流界に、なお一層のお役立ちができるよう研鑽に励んでまいります。



当社は、全事業所で品質マネジメントシステムISO9001
の認証を取得し、品質の向上に取り組んでいます。
(総務部・メンテナンス課 ISO9001認証対象外)



World Class Factory

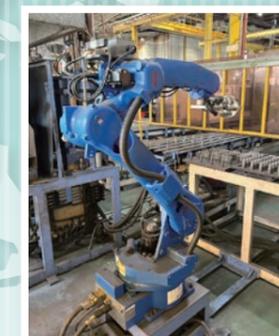
私たちは、国内拠点を中心にさらなる生産力の向上に取り組んでいます。

オムニヨシダは、奈良工場を軸にした 純国産品質の製品づくりが特長です。

いち早く ISO の取得などに取組み、徹底した品質管理体制のもと、オムニリフターをはじめ、全ての製品はここから出荷されます。

また、営業展開においても、アジアを中心としてニュージーランド・北米・ヨーロッパ にも販売実績を持ち、現地事情やビジネスのニーズに合わせた対応に努めています。

国内の新たな拠点として、大阪本社を関西ビジネスの中心地である大阪本町に移し、さらに情報力・連携力などを高めることにより、より迅速な対応とさらなるアイデア製品の開発や提供をお約束いたします。



奈良工場

本社ビル

当社の主力製品であるオムニリフターは、国内はもとより海外においても豊富な販売納入実績があります。
主なエリアとしては、産業発展の著しいアジア地域を中心に、ニュージーランドやイギリスなどでもご採用いただいております。
今後も世界各地へオムニリフターを販売し、様々な産業・経済発展の一翼を担って参ります。

Japan

SAPPORO
KANAZAWA
TOKYO
NAGOYA
OSAKA
FUKUOKA

当社製造開発の要である奈良工場では、垂直搬送機「オムニリフター」の“最高の性能”をご提供するために、全面的にロボットを活用した一貫生産システムを完成させ、常に、より精度の高い「品質第一」を徹底しています。

UK

U.S.A.

Mexico

China

Korea

Taiwan

India

Hong Kong

Vietnam

Thailand

Malaysia

Singapore

Indonesia

New Zealand



World Class Products

オムニヨシダは、“バーチカル（垂直）搬送システム”のエキスパート集団です。

垂直自動搬送機「オムニリフター」を中枢に、物流センター内の流れをスムーズにする各種マテハン機器を製作しています。

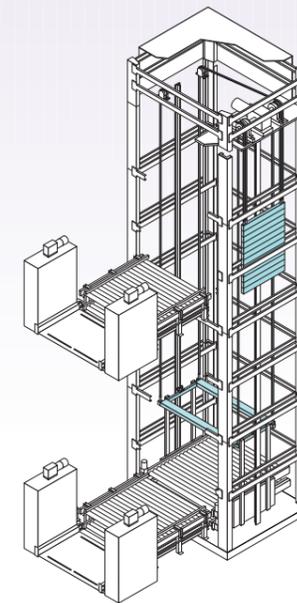
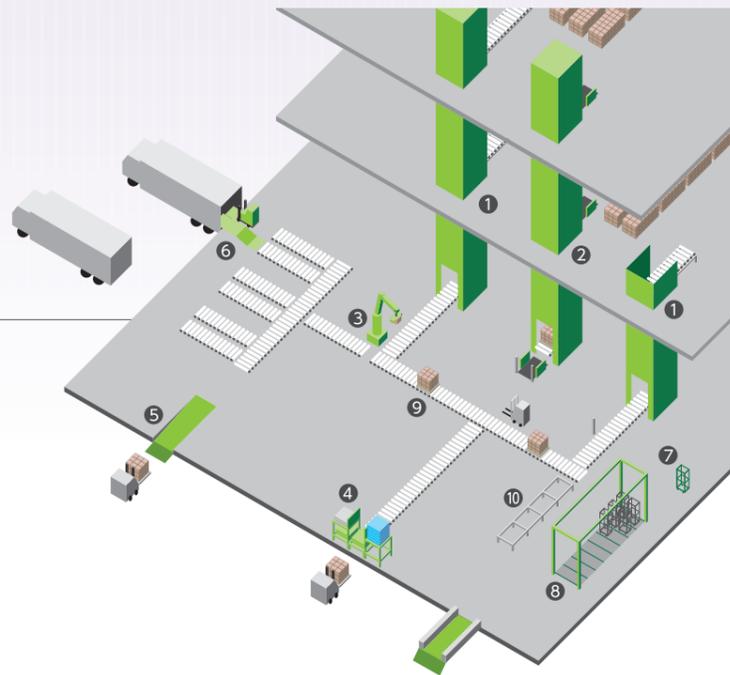
オムニリフターは、建設省、労働省に、エレベーター以外の機械設備として審査請求し、わが国で初めてパレット垂直搬送機として認められたものです（基収2183）。

確認申請不要で新設・既設を問わず設置でき、リース契約も可能です。

ユニットロードを垂直搬送する「パレット専用・標準型」から、専用パレットが循環する「パレット・台車兼用型」、あるいは設置スペースをセーブする「省スペース型」など、用途にあわせ最適な機種がお選びいただけます。

OMNI YOSHIDA Main products

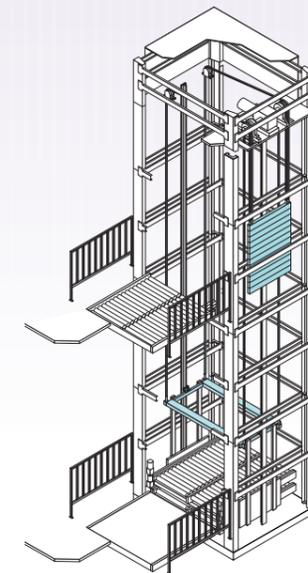
- ① オムニリフター（パレット用）… P5掲載
- ② オムニリフターサーキュレーション（パレット・台車兼用）… P6掲載
- ③ ORS/ODS … P8掲載
- ④ パレスルー … P9掲載
- ⑤ クライミングレベラー（スライドスロープ）… P9掲載
- ⑥ エクステナー（デバンニング自動機）… P10掲載
- ⑦ セフティカート（照明器具交換台車）… P11掲載
- ⑧ カーゴシェルター（空台車収納装置）… P11掲載
- ⑨ ローラーコンベヤ … P12掲載
- ⑩ チェーンコンベヤ … P12掲載



OMNI LIFTER PL Type

専用パレット循環式

- パレット・台車兼用型
- ピットレス対応



OMNI LIFTER HB Type

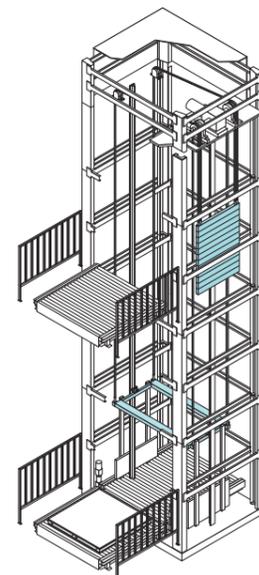
専用パレット簡易循環式
〔フォークリフト搬送対応〕

- 「長・重・大」搬送物マルチ対応（フォークリフト・台車・パレット）
- 作業スピード&効率UP（マルチ搬送・水平搬送一体型・サーキュレーションシステム搭載）



OMNI LIFTER SYSTEM

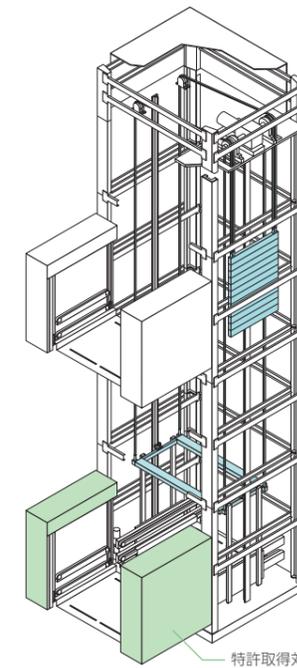
垂直自動搬送機



OMNI LIFTER ①

ローラーコンベヤ式
〔パレット専用型〕

- パレット単位専用型
- 高能力仕様
- 多様なレイアウト
- ピットレス対応

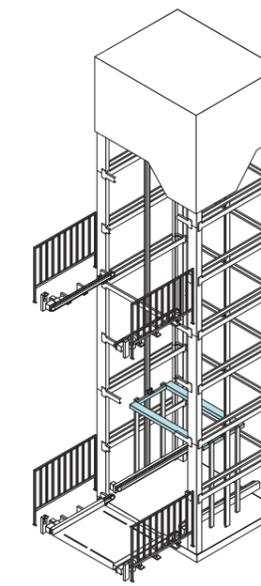


特許製品

OMNI LIFTER Σ Type ②

専用パレット循環式
〔高能力・省スペース型〕

- 高能力・省スペース型
- パレット・台車兼用型
- ピットレス対応



OMNI LIFTER SH Type STEP II

専用パレット往復式

- パレット・台車兼用型
- ピットレス対応

※STEP IIは2停止専用





ecOMNI エコオムニ

ランニングコスト削減システム

特許
製品

地球的環境問題が騒がれる中、事業者は生産性だけではなく、いかに地球にやさしく事業を進めるかという、10年前20年前では考えられない問題を背負っています。また、不況により価格破壊が進み、少しでも原価を下げるため、工場、倉庫を維持するためのランニングコストをいかに下げるかが課題となっています。

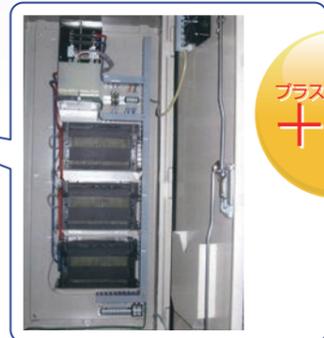
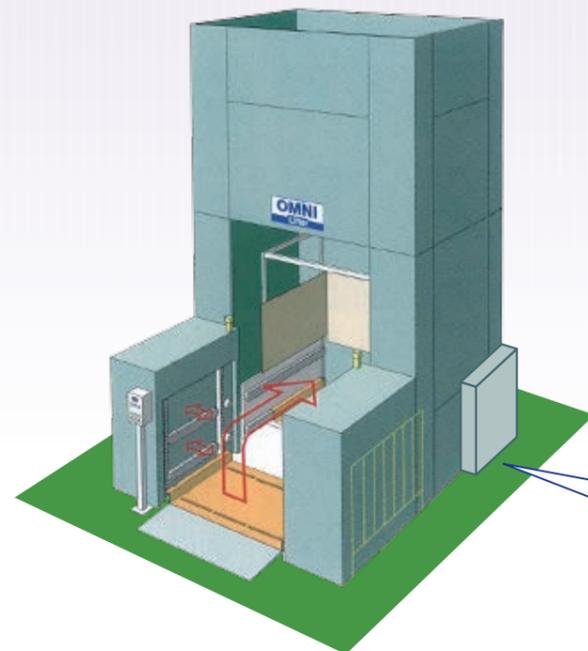
この度、「オムニシダ」は地球にやさしく、電気の削減が可能な垂直搬送機「エコオムニ」を開発いたしました。

「エコオムニ」は装置が昇降する際の回生エネルギーを「キャパシタ※1」により蓄電し、今まで熱エネルギー※2として放出していたエネルギーを力行時に使う電力を補うシステムです。これにより、電力を有効に使う事が可能になり、省電に大きな効力を発揮します。

新規導入、増設導入、既存改造が可能で現代社会の問題点を解消する事が可能です。

※ キャパシタとは電気を電気のまま（エネルギーの化学反応なしに）大きな充放電することを可能にする蓄電池。大容量の蓄電は不可能だが、低価格で、発生した回生エネルギーを効率よく設備に活用できる。

※ 弊社オムニリフターは電源回生式インバータを現在も標準で採用していますので、昇降中に発生した電力は、電源側に返し、他設備に使用しています。しかし、他メーカーは電源回生式を採用していない為、発生したエネルギーは抵抗により熱として放出します。これにより、工場内、倉庫内の温度を上昇させる原因の一つになっています。



プラス
+α

エコオムニの特長

新規導入時の電源設備容量の低減

エコオムニを採用することで1台あたりの電気容量は6~8割にできるため、電源設備容量の低減が可能です。

回生エネルギーの有効活用

回生エネルギーを有効に使えるため、電気使用量が下がります。

温暖化対策

発電した電気を熱エネルギーに変換しないため、温暖化対策になります。

電気基本料金の削減

最大デマンド値を下げる事が可能なため、電気基本料金の低減が可能です。

CO₂排出量の削減

熱エネルギーが発生しにくいので、CO₂削減にも寄与します。

Materials Handling Equipments マテハン機器

ORS/オムニロボットシステム

3Dビジョンとロボット、最適なロボットハンドを組み合わせ、マスターデータを持たずにデパレ作業を行います。

3Dビジョンセンサ

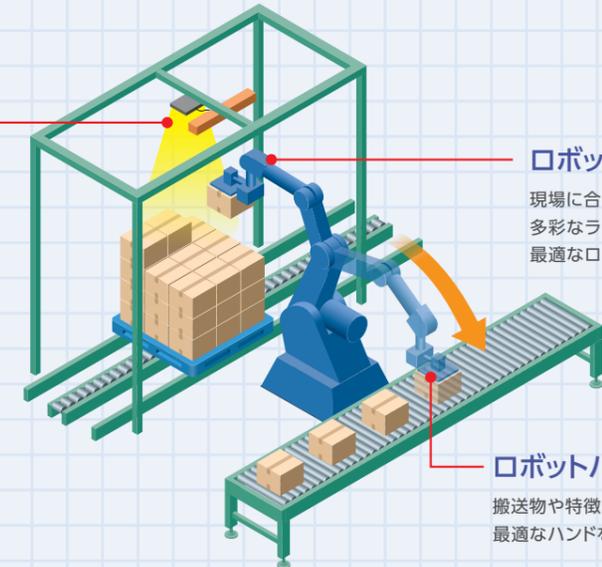
ピッキングの対象物を3次的に認識し、ロボットの正確な把持を可能にします。

ロボット

現場に合わせて多彩なラインナップから最適なロボットをご提案します。

ロボットハンド

搬送物や特徴に応じて最適なハンドをご提案します。



ODS/オムニデパレシステム

マスターレスロボットとパレットコンベヤ、台車自動搬送コンベヤを融合し今まで人手で行っていた作業を無人で行うことができるシステムです。

ロボット



3Dビジョン



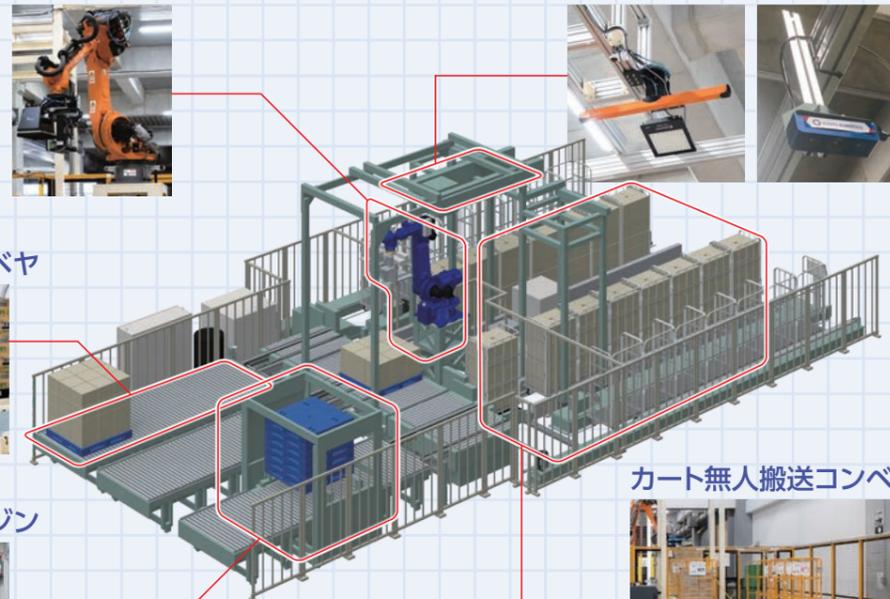
パレットコンベヤ



パレットマガジン



カート無人搬送コンベヤ





Materials Handling Equipments マテハン機器

パレスルー ④

特許品
パレット交換機

●パレット積みされた商品がメーカーから倉庫内に運びこまれ、ユーザーパレットと交換する際の時間を短時間(1パレット90秒)におこないます。

〈パレスルーⅠ型〉 単体据え置きタイプ
 〈パレスルーⅢ型〉 移動式タイプ
 〈パレスルーⅣ型〉 パレット供給機の無いタイプ



〈パレスルーⅡ型〉 コンベヤライン連動タイプ

エクステナー ⑥

特許品
コンテナからの荷卸し作業をスピードアップするデバンニング自動機



●エクステナーⅠ型によるデバンニングの状況

〈エクステナーⅠ型〉

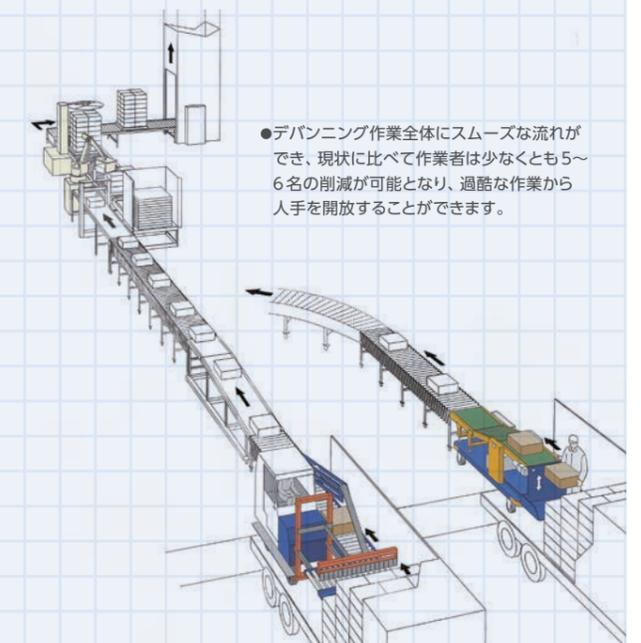
- ロボット自走式(半自動/作業員1名)
- 高齢者、女性にも作業可能



●エクステナーⅡ型によるデバンニングの状況

〈エクステナーⅡ型〉

- 作業台自走式
- 作業員1～2名



●デバンニング作業全体にスムーズな流れができ、現状に比べて作業員は少なくとも5～6名の削減が可能となり、過酷な作業から人手を開放することができます。



●デバンニングされた商品は、パレット積みされオムニリフターで2階へ。

クライミングレベラー ⑤

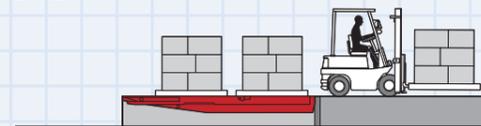
特許品
トラックレベラー兼用スライドスロープ

Level Set



●トラック到着時にはボタン操作で荷台高さまで上昇し、安定したスロープをつくります。(傾斜角度9.5°、先端部スライド幅500mm)

Flat



●普段は床面と同一の高さを保ち、倉庫内の往来に支障なく対応します。必要に応じて、地上とプラットホームとの段差をゆるやかなスロープで解消することができます。(傾斜角度7.0°、先端部スライド幅1,000mm)

Slope



●安定したスロープをつくります。クライミングレベラーの先端部には、上昇時500mm、下降時1,000mmのスライドクリップがありますので、フォークリフトの乗り移りに段差を感じさせない安定感があります。



Materials Handling Equipments マテハン機器

セフティカート ⑦

特許品 照明器具交換台車

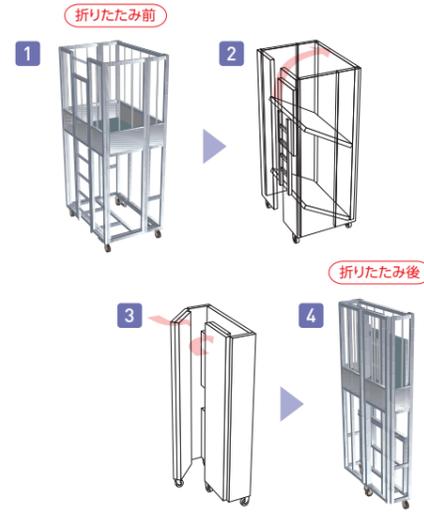
- 高所照明取付・取替作業を安全に行うための補助用台車です。
- その他、工場の配線管継にも使用できます。



※自動爪ロック装置はオプションです。

折り畳み手順

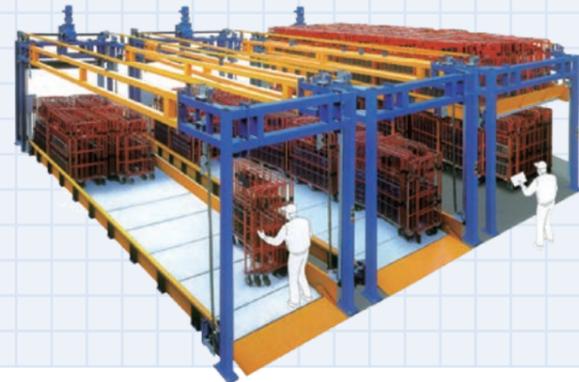
収納時には、1/3のサイズに折りたたむ事ができ、わずかなスペースに保管することができます。



カーゴシェルター ⑧

特許品 空台車収納装置

- カゴ車を天井部分に収納するため、作業スペースが広がります。
- カゴ車を上段、下段に収納すれば収納効率が約1.8倍になります。
- 繁忙期はカゴ車をフル回転させ、閑散期はカゴ車を収納できるため、自社でのカゴ車所有台数を増やす事が可能です。
- 屋外に置いていた台車を屋内に収納できるため、カゴ車のサビを防げます。
- 冷凍・冷蔵倉庫では出荷待ちのカゴ車を収納できるため、品質を保てます。
- カーゴシェルターは機械設備のため、中2階設置の様に確認申請等の届出は不要です。
- 設置は3日間～5日間です。



耐寒仕様 (-25℃)

コンベヤ機器 ⑩

搬送物を入庫口から出庫口へパスするには何らかの搬送機器が必要です。現在、台車系やトローリー系が氾濫している中、オムニヨシダはシンプルで安価なコンベヤにこだわり、従来のコンベヤをオムニコンベヤとしてリニューアルしました。必ずご満足していただけたらと思います。

ローラーコンベヤ



ローラーコンベヤ駆動伝達部

チェーンコンベヤ



継ぐだけですぐ稼動(レイアウト自由自在)

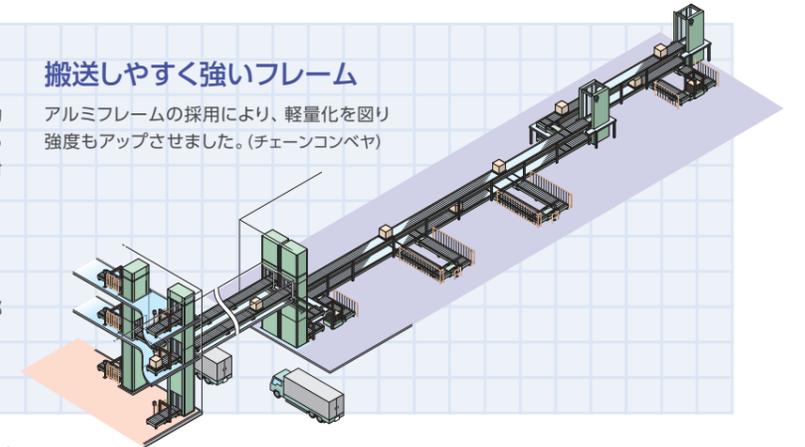
いっさい埋設工事が要らず、セットするだけで稼動可能状態になります。コンベヤが単体で駆動するのでフレキシブルなレイアウト変更にも柔軟に対応できます。

搬送しやすく強いフレーム

アルミフレームの採用により、軽量化を図り強度もアップさせました。(チェーンコンベヤ)

耐久性バツグンの脚・フレーム

脚・フレームは鉄板のプレス曲げ加工なので溶接部がなく、耐久性にもすぐれ品質も安定しています。



チェーンコンベヤ



トラパーサ



チェーントランサー



パレットマガジン



V型ローラーコンベヤ



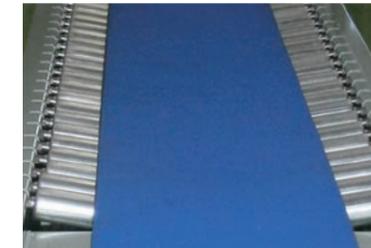
ターンテーブル



スラットコンベヤ



Vベルトコンベヤ



ストレッチフィルムライン



営業・設計・製造拠点

■本社

〒541-0054
 大阪市中央区南本町2-3-21
 TEL 06-6266-0120(代)
 FAX 06-6266-0211

■東京支社

〒108-0023
 東京都港区芝浦2-14-8 第2ターワイビル1F
 TEL 03-3453-1771(代)
 FAX 03-3453-7223

■中部支店

〒485-0014
 愛知県小牧市安田町94番地
 TEL 0568-42-1123(代)
 FAX 0568-42-1124

■福岡営業所

〒812-0042
 福岡県福岡市博多区豊1丁目8番29号
 TEL 092-409-5066(代)
 FAX 092-409-5067

■大阪工場

〒581-0812
 大阪府八尾市山賀町4-2-2

■奈良工場

〒632-0102
 奈良市上深川町758-5 小倉工業団地内
 TEL 0743-84-0046(代)
 FAX 0743-84-0102

メンテナンス拠点 (ISO9001 認証対象外)

■大阪営業所

〒581-0812
 大阪府八尾市山賀町5-1-2
 TEL 072-998-3841(代)
 FAX 072-923-6580

■東京営業所

〒108-0023
 東京都港区芝浦2-14-8
 第2ターワイビル1F
 TEL 03-3453-5851(代)
 FAX 03-3453-7223

■関東営業所

〒334-0076
 埼玉県川口市本蓮2-8-30
 TEL 048-287-5770(代)
 FAX 048-287-5775

■中部営業所

〒485-0014
 愛知県小牧市安田町94番地
 TEL 0568-42-1123(代)
 FAX 0568-42-1124

■福岡営業所

〒812-0042
 福岡県福岡市博多区豊1丁目8番29号
 TEL 092-409-5066(代)
 FAX 092-409-5067

■札幌営業所

〒063-0061
 北海道札幌市西区西町北14丁目1番15号
 ホクシンビル2階2-C号室
 TEL 011-624-7616(代)
 FAX 011-624-7618

■金沢営業所

〒921-8809
 石川県野々市市二日市1丁目59
 TEL 076-259-0641(代)
 FAX 076-259-0642



大阪営業所



東京支社・営業所



関東営業所



中部支店・営業所



福岡営業所



金沢出張所



奈良工場

会社名

オムニシダ株式会社
 代表取締役社長 日野真二郎

創業

昭和4年4月(1929年)

設立

昭和49年4月(1974年)

資本金

75,000,000円

従業員数

180名

取引銀行

大阪シティ信用金庫
 三井住友銀行
 三菱UFJ銀行
 みずほ銀行
 商工中金

品質向上

国際品質管理規格ISO9001の認証を
 取得して“品質の国際化”を達成



(総務部・メンテナンス課・ISO9001認証対象外)



所属団体

日本ロジスティクスシステム協会
 社団法人日本産業機械工業会

営業品目

自動垂直搬送機/オムニリフター
 空台車収納装置/カーゴシェルター
 デバンニング装置/エクステナー
 パレット交換機/パレスルー
 照明器具交換台車/セフティカート
 段差解消装置/クライミングレバラー
 オムニデパレスシステム
 オムニロボットシステム

会社沿革

- 1929 大阪市浪速区浪速町東1-2に於いて、吉田理吉の個人経営にて吉田車輛製作所を創業。主として運搬車の製造を業務とする。以後、戦時中は軍需工場に指定され軍需品の生産を行う。
- 1946 終戦後、再び産業用運搬車の製造を行いその品質は、技術と経験により絶大な好評を受ける。
- 1949 日本運搬車輛工業会(東京都中央区銀座2-9-4)に加盟。
- 1960 関西小型車輛協会創立と同時に同協会に加盟。
- 1966 株式会社吉田車輛製作所を吉田車輛機器株式会社と社名変更と共に資本金1000万円の法人組織として、生産設備の合理化された東住吉工場を建設、情報、研究、生産、販売等の直の連絡を徹底させ機械部門生産コスト面のロス等の除去を行う。
- 1973 オムニリフター、システム開発。
- 1974 大阪府八尾市に本社工場を建設。同場所に事務所及び営業部門も全面移転し本社所在地を変更する。
- 1975 建設業許可機械器具設置工事業の申請をして大阪府知事許可(般-50)第31422号許可。
- 1975 オムニリフターが建設省昇降機性能評定委員会及び労働省労働安全通達基収2183号認定許可を受ける。
- 1977 資本金4000万円に増資。
- 1978 関東市場の開拓をはかるため東京都内に東京営業所を開設する。
- 1979 サービス部門の充実をはかるために、株式会社オムニサービスを設立する。(12名)
- 1979 第一工場向いに生産拡充、電気制御研究、開発のため4階建本社ビル完成。
- 1982 建設業許可、建築土木工事業及び機械器具設置工事業の申請を建設大臣許可に切替申請し許可される。建設大臣許可(般-56)第9835号許可。
- 1986 第一工場を全面的に改造、機能も大幅に向上。同時に事務部門及び技術部門を本社ビルに移転。
- 1987 第一工場近くに、生産性向上、製品開発のため、第二工場を完成。
- 1989 東京営業所の拡充に伴い、東京支店に改名。
- 1989 株式会社オムニサービス資本金1500万円に増資。
- 1992 コンピューターシステムによる生産ラインを導入した奈良工場完成。
- 1993 中部地区の市場開拓をはかるため、名古屋営業所を開設。(株)オムニサービスを、オムニテクノ(株)に社名変更と共にメンテナンス部門と工事部門を統合し、業務の拡大を行う。
- 1994 九州地区の市場開拓をはかるため、福岡営業所を開設。
- 1997 資本金5000万円に増資。
- 1997 生産効率向上のため、奈良工場内に第二工場増築。
- 2001 製品品質向上をはかるため、ISO9001(1994)を取得。
- 2003 ISO9001(2000)に移行。
- 2008 吉田車輛機器株式会社をオムニシダ株式会社に社名改称
- 2008 代表取締役 吉田 豪が代表取締役会長に就任
 専務取締役 藤田徳市が代表取締役社長に就任
- 2015 本社移転(大阪市中央区南本町2-3-21)
- 2018 資本金7500万円に増資。
- 2019 常務取締役 営業本部長 吉田慎太郎が代表取締役社長に就任
- 2020 北陸地方での顧客維持とメンテナンス体制の強化のため、金沢出張所を開設。
- 2022 常務取締役 日野真二郎が代表取締役社長に就任
- 2023 オムニシダ株式会社とオムニテクノ株式会社が合併し、オムニシダ株式会社に統合